

◆父の日、誕生日、還暦と重なったので、息子が喜んで送ってくれました。酒がダメな私ですが、やはりがすごくいいと感じました。

◆父の日、誕生日、還暦と重なったので、息子が喜んで送ってくれました。酒がダメな私ですが、やはりがすごくいいと感じました。

◆父の日、誕生日、還暦と重なったので、息子が喜んで送ってくれました。酒がダメな私ですが、やはりがすごくいいと感じました。

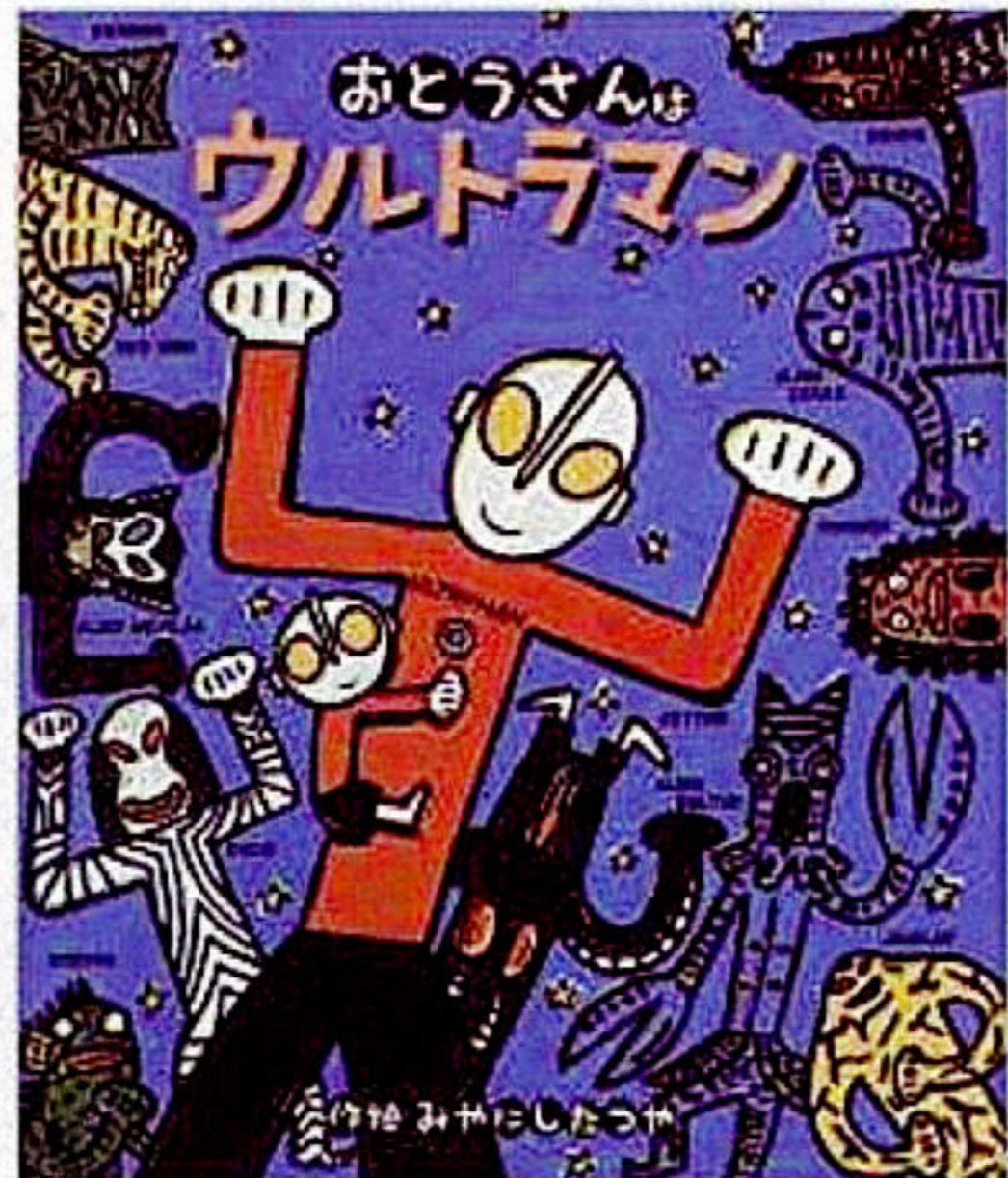
優さん  
むつ市

### 6月の第3日曜日は父の日。 お父さんが登場する本を紹介します。

古川里美さん（弘前市／広報委員）

おとうさんはウルトラマン みやにしたつや 作・絵 学研

◆今から約50年前、テレビに登場して一気にみんなの心をつかんだヒーロー、ウルトラマン。その人気は衰えることなく、今でも思い出のヒーローの上位にランクインされています。そのウルトラマンがお父さんになりました。強くて、かっこよくて、怪獣と戦っても疲れないし、どんなにつらなくても泣かない。でも、そんなお父さんも、優しくて、甘くて、涙もろくなる時があるんです…。人気絵本作家、みやにしたつやさんは、ウルトラマンシリーズ、ティラノサウルスシリーズなど、絵本にお父さんを登場させました。一生懸命で、ちょっと不器用で、でも思いやりがあって、大きな愛で包んでくれるお父さん。子供も大人もお父さんのことが大好きになる絵本です。



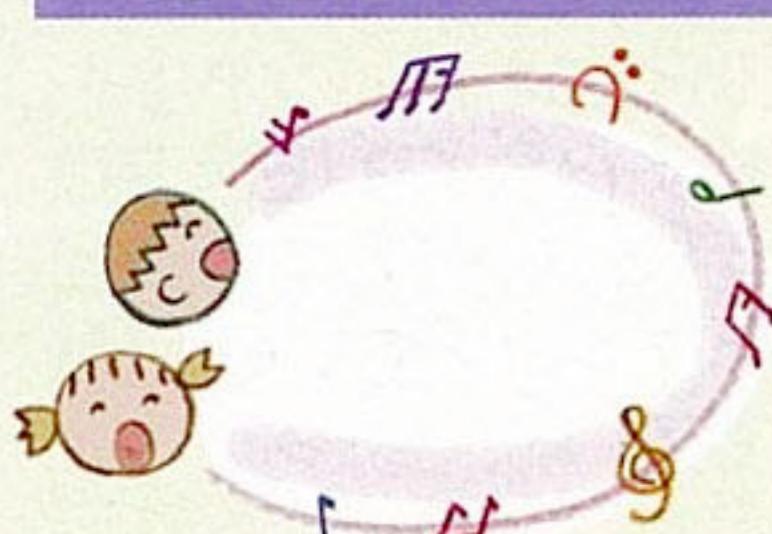
父の詫び状 向田邦子 著 文芸春秋



◆昭和初期、家庭の中の父親は、一家の大黒柱であり、頑固で厳しくいつも威張っている、という姿がよくドラマなどの中でも描かれます。この「父の詫び状」に登場する父親も、まさにその通りで、頑固で口うるさい、すぐに怒鳴る、しつけに厳しい、感謝しない、等々、今の時代から見ると、もう勘弁してよ、という父親なのです。でもそんな父の姿を、時にユーモラスに、時にホロッとさせるこの作品から、作者の父に対する愛情を感じることができます。この本は、表題作を含む24のエッセイ集で、全体を通して、家族の思い出とともに、作者の日常の思い出がさりげない語り口で描かれています。言葉の選び方、場面の描き方も秀逸で、脚本家としても名高い、向田邦子さんならではの一冊です。

### 子育ておうえん情報コーナー

今回は、3月号掲載、「じいじ・ばあばのための情報」その②に寄せられた声をご紹介します。



●子供は5歳ころまでが事故による死傷が一番多いといわれています。そのため、事故の防止は大変大切なことです。これからも、企画の継続をお願いします（八戸市のMさん）

●これから孫を預かることになりそうなので、主な注意事項6点について気を付けて、けが、事故のないようがんばりたいと思います（八戸市のYTさん）

●子どもは想像できないような行動をとったりするので、安全に関しては本当に気を付けなければいけませんね。具体的にいろいろな事例を挙げているのがいいと思いました（弘前市のHKさん）

●私の息子もストーブでやけどして大変でした（野辺地町のYEさん）

\*子どもの成長を見守るのは、楽しくあわせなことです。迷ったり、悩んだりする時もあります。そんな時に、ちょっとしたアドバイスが心の支えになれば… ということから誕生したコーナーです。投稿もお待ちしています。



●じいじ・ばあばがいれば昔は子育てがラク（？）だったのが、今はいなければ大変だし、いても甘やかすのでダメとかで大変だったり… どちらにしても大変ですね。今回の危険度チェック、とても大事な情報だと思います。ためになるし… このコーナー、これからも続けてほしいです（つがる市のHさん）

●このコーナーがもっと早くにあたらと、孫育てが終わったので思いました。これからの方にも、とても役立ちますね（新郷村のNSさん）

●子供のいる家では当たり前にされている安全対策も、じいじ・ばあばの家ではそもそもいませんよね。自分たちが子育てしていたのは何十年も前のことでしょうから。気を付けるべき点を改めて確認することは必要だと思います。私の実家でも、反射ストーブをつけるのが怖くて、「危ないよ」が解るようになるまでは、子供たちがいる間は極力つけずにいました（五所川原市のAFさん）

▶写真はイメージです  
(1月21日、五所川原市内で行われた地域の催しで撮影)



### ジューンブライド…

「6月に結婚すると花嫁は幸せになる」と言われるジューンブライド。私はその言葉に憧れ、6月に結婚しました。

結婚式の思い出は… 披露宴の曲を自分で選んだこと(全部ドリカム)、当日の朝、時間に遅れて来た新郎(旦那)は二日酔いだった。事前の打ち合わせではなかった父と腕を組んで入場し、新郎の所まで歩く場面で、父が、「あそこで新郎を殴る父親もいるんだよな」とほそと話したり…。三々九度でおとそを飲みたかったのに、着物の帯がきつくて腕が口まで届かなかつた… など。

あれから20数年経ちましたが、大きな山もなく谷もなく、少なくとも私は離婚したいと思ったことはなく(笑)、幸せに暮らせているのは6月に結婚したからでしょうか?

荒屋直子さん（青森市／地域リーダー）



### 組合員さんの交流コーナー

## てーまは… 6月といえば…

\*広報委員会のメンバーや「はばたき」レポーターさん等から寄稿・投稿いただきました

◆6月といえば自分の誕生日！自分でケーキを作ってみんなで食べます。6月はいちごが売っている最後の月だと思うので、この月にいちごを満喫し、あとはクリスマスまでさようなら～です（八戸市の柳谷久美子さん）

◆6月といえば…何と言っても「祝日がない！」月です。未来の天皇が6月生まれであることを祈るしかありません（青森市のYTさん）

◆6月といえば…考えたんですが：私は毎年、梅ジユースを作ってる事からいかでかでなくして梅ジユースがなくて。梅1kgを洗ってきて、全部ひたらぬ時は酢を加えます。好みで薄めで飲みます。使った梅は毎日1個、ご飯と一緒に、米酢はちみつ各500mlと混ぜて重しをします（梅が空氣にふれないように）。全部ひたらぬ時は酢を加えます。1ヶ月でジユース完成です。好みで薄めに炊く時に炊飯器に入れるご飯が腐りにくいかから、梅雨から夏場におすすめです。（紙面の役に立つかわからぬけど…）

◆6月といえば…ジューンブライド、あこがれでした。主人の仕事の都合で4月でしたが…。月は主人の誕生日があるので、プレゼントMAX忙しくなる月でした。今は、職場の第一四半期の業績を問われる時期：弘前市の山崎千尋さん

◆6月といえば…やっぱり梅雨、アジサイ月は主人の誕生日があるので、プレゼントMAXを考えます。2年前までは娘の部活で第1四半期の業績を問われる時期：弘前市の山崎千尋さん

◆6月といえば…やっただろう？ってカンジですね。子供達が小さい頃は、「母の日」にカーネーションやらハンカチやらもらつたもので…

◆6月といえば…バーミントデーなどありました。本日、記念日だけでも「どれだけある

◆6月といえば…ドレミの日、26日露天風呂の日、27日ちらし寿司の日、28日和菓子の日、17日おまわりさんの日、20日

◆6月といえば…バーミントデー、22日かにの日、9日リサイクルの日、10日ミルクキヤラメルの日、14日世界献血者デー、15日暑中見舞いの日、16日和菓子の日、17日おまわりさんの日、20日

◆6月といえば…ドレミの日、26日露天風呂の日、27日ちらし寿司の日、28日和菓子の日、17日おまわりさんの日、20日

◆6月といえば